

HiroTech Technical Bulletin

T-REX500LにKZ0820112Aを装着する際の注意事項

T-REX500LにスケールモデルKZ0820112A(ウルフ)を装着する際の注意事項を、ご案内いたします。

※ なお、この説明は青色のスケールボディを使用しています。KZ0820112A(ボディ色 黒)とことなりますので、ご承知おきください。

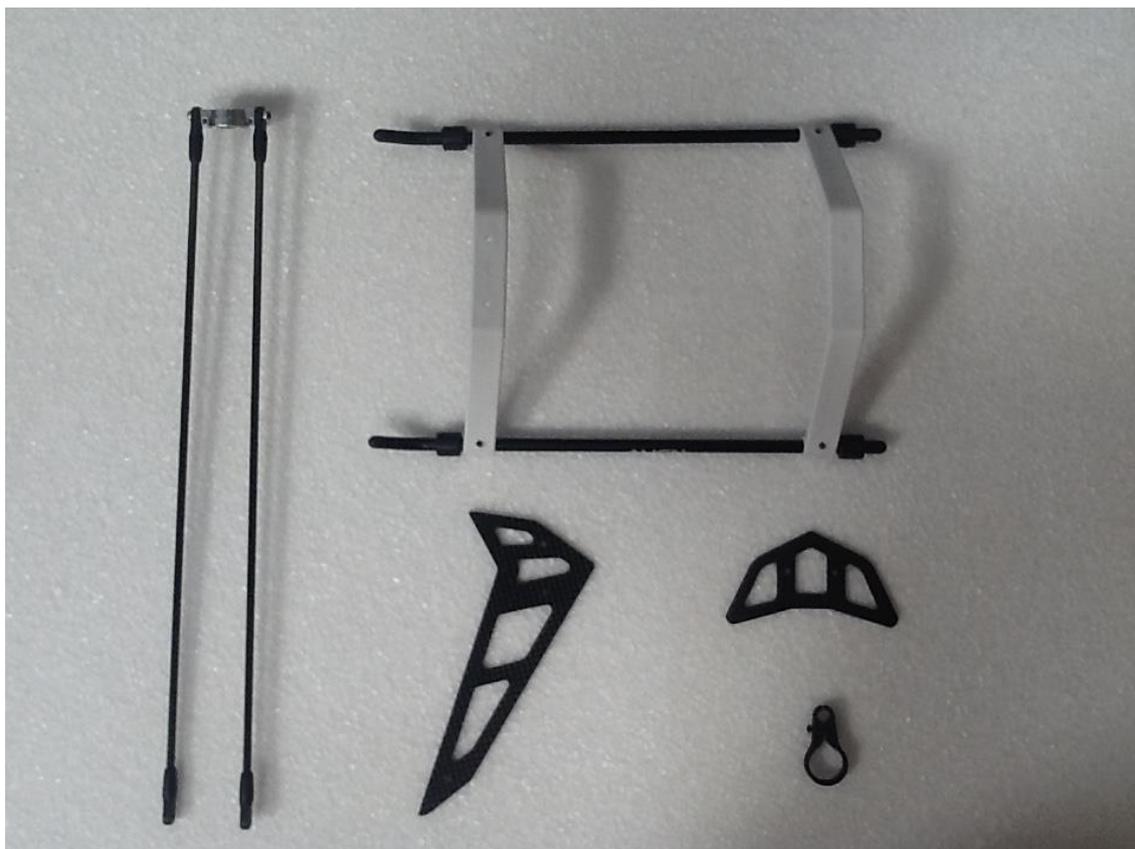
※ バッテリーの取付周辺についての改造はありません。ALIGNの6S1P 3300mAhリポバッテリーをお使いください。



エアウルフに 500L を積み込む時の改造点

□テスト飛行済みの 500L から不要部品を取り外す。

【画像参照 AF500L-1】

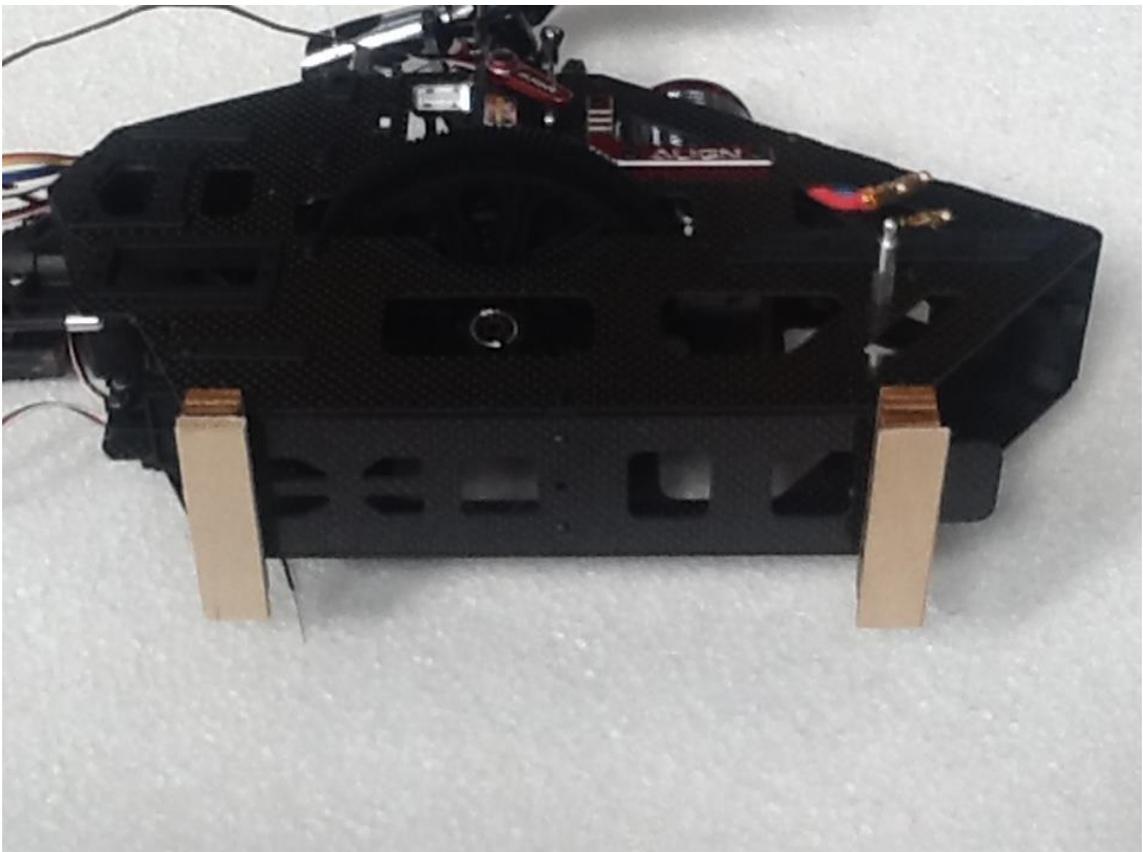
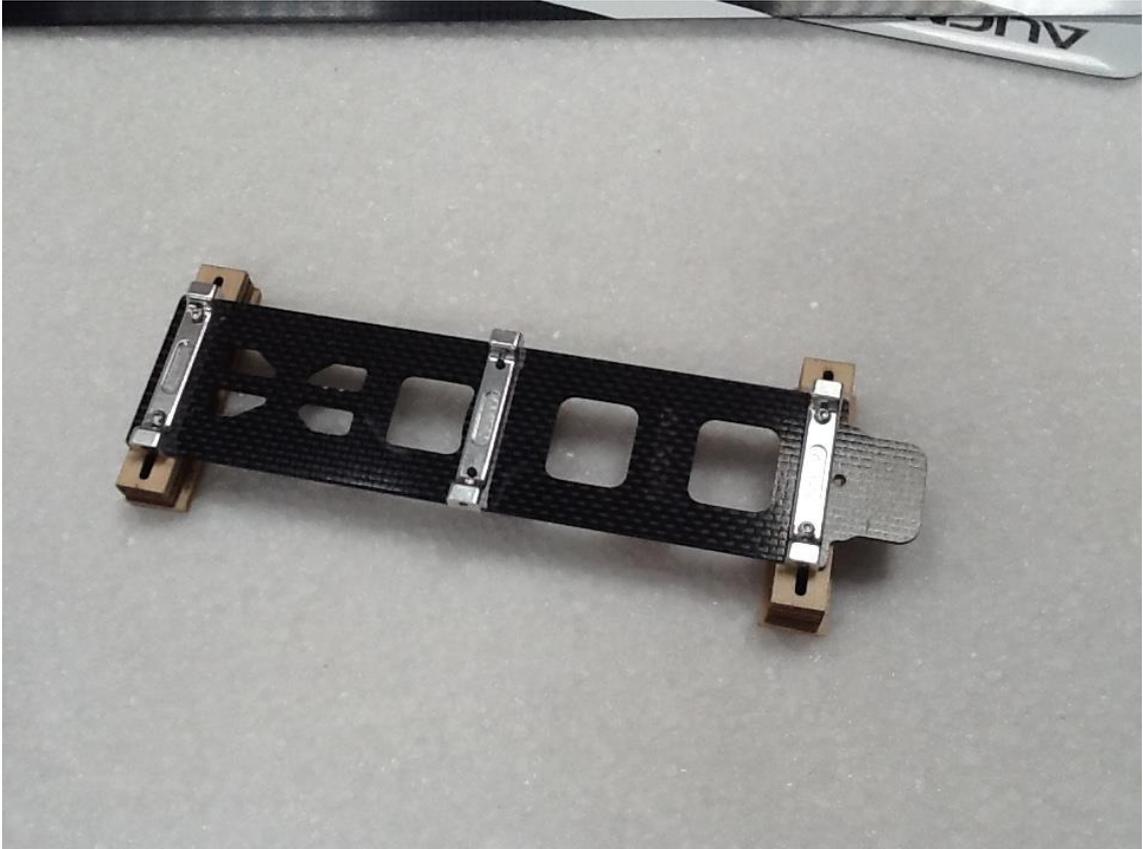


フレームマウント

□付属フレームマウントの加工

ベニヤ 5 枚重ねのフレームマウントが 2 個付属しているが、うち 1 個のマウントのベニヤを 1 枚剥がし 4 枚重ねとしてこれをフレーム後部に取り付ける。一方は 2mm ベニヤをフレームマウントに追加接着し、これを前部フレームに取り付ける。

【画像参照 AF500L-2、3】



なお、フレームマウントとフレームはスキッドマウントの上から 2.6mm タッピングビスを用いて取り付け。フレームについているスキッドマウントにはネジが切ってあるため、2.6mm のキリで穴をあける。同時にボトムプレートも穴あけ加工しておく。

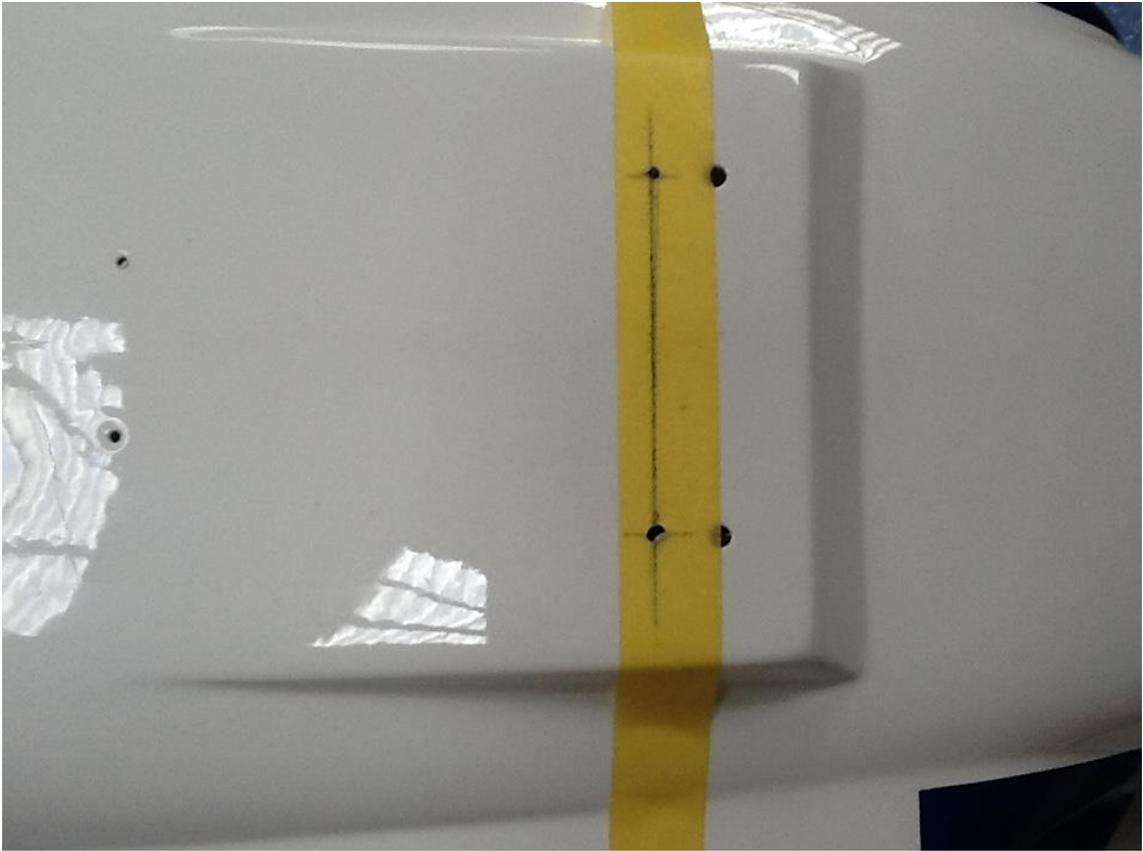
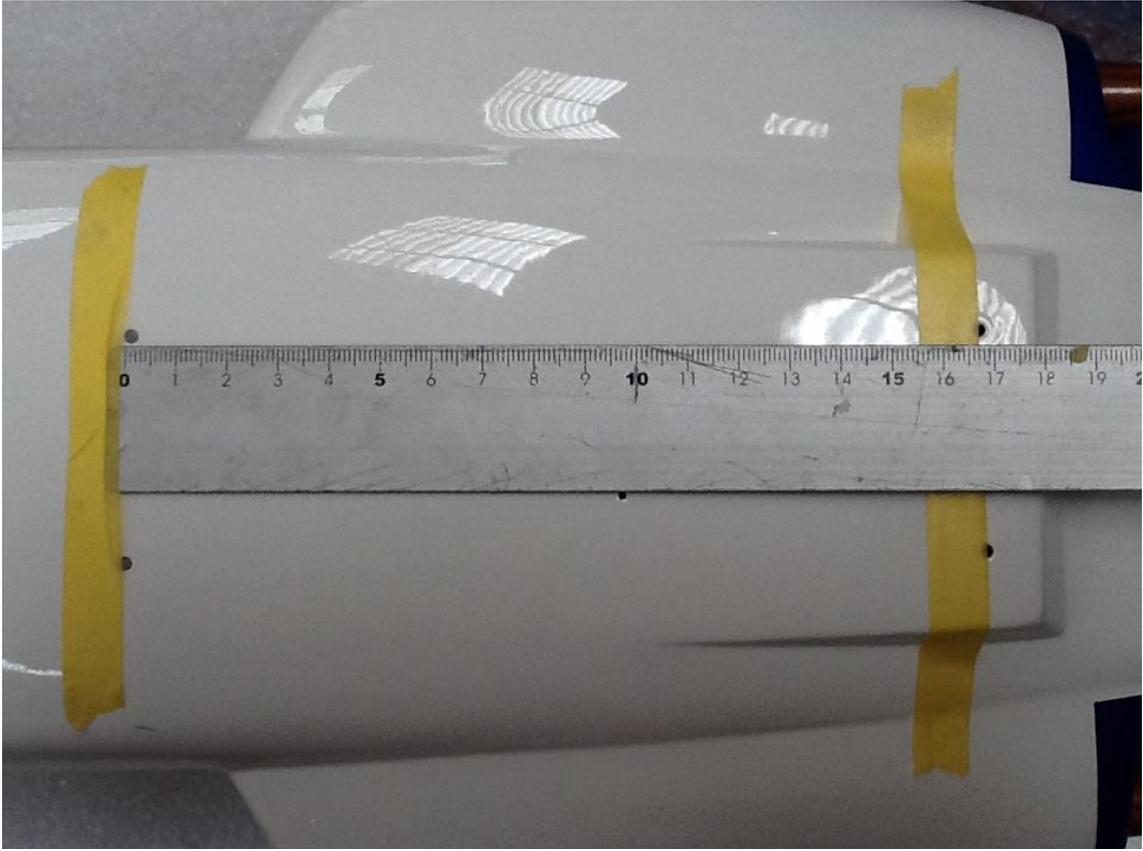
【画像参照 AF500L-4】



ボディ

□フレーム長が 500 と 500L では違うのでボディにあらかじめ開いているフレームマウント穴をあけ直す。前側はそのまま使い、後部マウントまでの寸法を正確に測ってボディに 3mm の穴をあける。

【画像参照 AF500L-5、6】

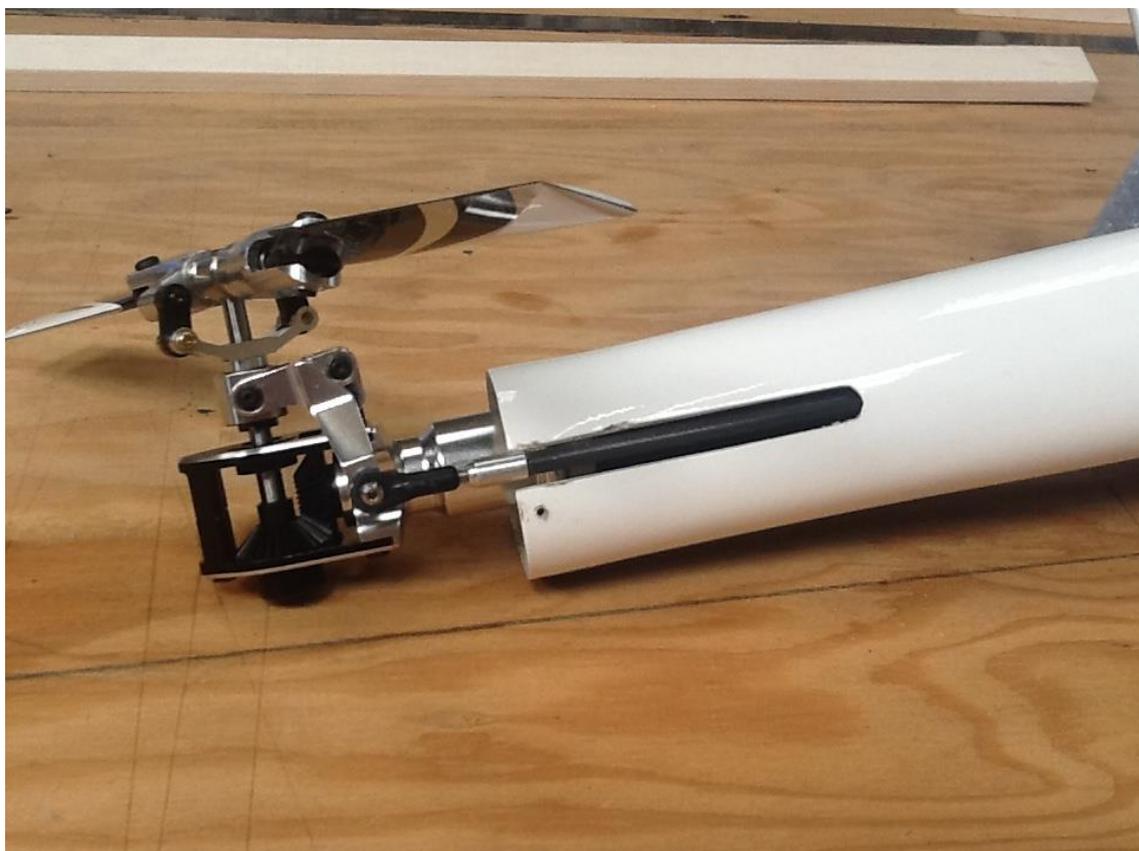


ボディとフレームマウントの固定には 3mm タッピングを使う。

テール部分

● テールコントロールロッドとボディの干渉を避けるため、ボディ後部下側を写真のように切り取り加工する。

【画像参照 AF500L-7】



完成

【画像参照 AF500L-8、9、10】



